ＤＸ推進リーダー研修業務委託仕様書

1. 事業の概要

「富山県職員DX人材育成・確保基本方針」に基づき、県庁内ＤＸを推進することができる人材を育成・確保するため、DX推進リーダー養成研修を行うもの

1. **委託業務の期間**

契約締結日から令和８年３月31日まで

1. **業務内容**

**（１）講義・ワークショップの企画・運営**

**ア　DX推進リーダー研修（50人程度、オンライン可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 研修目標 | ・高いデジタル・データ活用スキルやマネジメントスキルを持ち、デジタル化推進室や他部局と連携して、ＤＸ推進をけん引するための知識を習得する  ・研修等と職場での実践を繰り返すことで、職場のDXをスパイラルアップ的に推進するとともに、本研修を通して、DXリーダー間の人的ネットワークを構築することができる |
| 対象者 | DX推進リーダー（主任以上）  以下の室課等に設置した推進リーダーで研修受講を希望する者  知事部局の本庁及び出先の室課  企業局の本庁及び出先の課  教育委員会事務局の本庁、出先、教育機関、県立学校  議会事務局、各種委員会事務局 |
| 講義回数 | ３回以上（６か月間程度の継続コースとし、2ケ月に１回程度実施）  ・講義1回、ワークショップ２回以上  ・研修終了後、実践結果の成果発表会（DXアワード）を実施。 |
| 講義時間 | １回あたり半日程度 |
| 講義内容 | 一般的なデジタル・データ活用スキルに加え、高度専門人材・DXエキスパートとの橋渡し役を担ってDX推進に機動力を持って取り組むために必要な知識・実践力（プロジェクトマネジメント、BPR、EBPM（課題解決能力、データ分析と見える化））を習得するためのプログラム |
| 特記事項 | ①管理職向け研修、ハンズオン研修は別途実施、プロポーザル対象外  ②研修の効果  受講者を募集する際に使用する、研修の効果（どのような知識・スキルが身につき、業務遂行上のどのような課題の解決に役立つのか）を分かりやすく説明した資料を提示すること  ③市町村DX研修  　受託事業者決定後、市町村DX研修を含めた再見積もりを徴収  講義　100人程度（R6年実績　100人）  ワークショップ　70人程度（R6年実績　63人）  市町村市役所に受託者が出向き実施  市町村DX研修は上限提案額の枠外  ④追加提案等  ・上記講義回数・講義時間・講義内容に加え、テーマを定めた短期集合研修（ブートキャンプ）の実施等の追加の研修が可能であれば提示すること  ・一般的な研修内容と比較し、提案者の独自色を織り込んだ内容はその旨特記すること |

**（２）研修に関する運営支援**

（ア）事前調整

1. 会場の選定

研修実施に会場が必要な場合は、受託者が県民会館内で確保し、費用も受託者が負担すること。

1. 講師、講師補助員選定

講師及び講師補助員の選定・確保は受託者の責任において行う。

1. 開催日程の決定

講義等の日程・時間は、県と協議のうえ、最終決定すること。

④ 配布資料の作成、教材（機械器具等）の調達・配布

講義で使用する資料（テキスト）は、カリキュラムを踏まえ講師が作成することとし、事前に県に提出し、了解を得たものを受託者から配布すること。また、研修に使用する教材や機械器具等は、参加者数や科目内容を考慮して適切なものを設定したうえで、調達・配布すること。ただし、機械器具等については、受託者によるリース・レンタルを原則とする。

1. 当日の研修会運営（対面実施の場合）
   1. 会場設営

会場設営は受託者が行うこと。

* 1. 講師応対
  2. 司会進行

（ウ）当日の研修会運営（オンラインの場合）

①研修会運営体制

研修環境準備、受講者受付・研修当日の事務担当者の配置については、講師応対や講義中の機器不調等に対応できる体制を整えること。

②講師応対

③司会進行

（エ）研修終了後の業務

* 1. 受講者の出席状況の管理（遅刻・欠席・途中退席等含む）
  2. 講師及び補助事務員への謝礼支払及び礼状送付

謝金（講師、補助事務員）及び講師交通費も委託費に含むこと。

　　（オ）大学との連携研修について

①講師・講師補助員

大学が推薦する候補者の中から大学との協議の上選定すること。なお、講師補助員はDX推進サポーターから選定すること。

DX推進サポーター

：庁内業務のDX化推進の支援業務を行うため、県立大学から推薦を受けた学生をDX推進サポーターとして任用。

* 1. 講師及び講師補助員への謝金支払及び礼状送付

謝金（講師、講師補助員）も委託費に含むこと。なお、支払いについては受託者から講師等に直接行うこととし、源泉徴収等必要な業務についても対応すること。なお、単価については、受託者が設定するものとする。

**４　提案上限額**

　５６０万円（税込）

上記に、本業務に係る人件費、旅費、通信費、印刷製本費及び契約費用等の一切の経費を含むものとする。

**５　納品物**（すべて電子媒体可）

* + 1. 研修テキスト
    2. ワークショップにおける発表資料
    3. 実施計画書、結果報告書

**６　スケジュール**

本業務のスケジュールについては、概ね次の期間を想定しているが、詳細は本県との協議により決定する。

令和７年７月上旬 契約締結

令和７年７月下旬～令和８年２月中旬　 研修実施（DX推進リーダー）

**７　その他**

1. この仕様書に定めのない事項またはこの仕様書について疑義の生じた事項については、県と受託者とが協議して定めるものとする。
2. 本仕様書はプロポーザル募集用であり、契約先候補者とは、内容を協議のうえ、契約を締結するものとし、契約内容等については、協議の中で、企画提案書等の内容から変更・修正する場合がある。